

第8期第2回あま市まちづくり委員会 議事要旨

と き 令和8年8月31日（月）

午前10時～午前11時45分

ところ あま市役所 2階 D会議室

1. 出席者等

委 員	14名
アドバイザー	1名
事務局	4名
傍聴人	1名

2. 委員長あいさつ

3. 議題

地域資源バンクの導入について

《事務局》

資料1について説明。

《委 員》

先進事例が少ない理由は。

《事務局》

全国的に制度が浸透しておらず、認知度が低いことが理由と考えている。

《委 員》

モノの貸し借りは当事者間での調整となるのか。また、損壊時の対応は。

《事務局》

資源や利用者が軌道に乗るまでは、マッチングをサポートすることを想定している。

将来的には、サポート不要の体制を整えたいと考えている。また、資源の利用に関し

ては、当事者間で解決を想定しているが、主に原状復旧が前提となると思われる。

《委 員》

先進事例における登録資源の価格設定は。

《事務局》

資源登録をする方の裁量で価格を設定していると思われる。

《委 員》

先進事例における、申請手段は。

《事務局》

オンライン上で申請があったものに対しては、審査を行い、疑義等がある場合は運営主体から連絡して、聞き取りを行っている。

《委 員》

登録申請から承認を受けるまでのスピード感は。

《事務局》

2か月程度の期間を想定している。

《委 員》

本市で地域資源バンクを導入した場合の運用主体は。

《事務局》

現在検討中。現時点では、市もしくは市民活動センターを想定している。

《委 員》

現在の登録制度（市民活動団体やボランティア等）と連携は図るのか。

《事務局》

現在ある登録制度を完全に一本化することは難しいものの、それらを包括的にカバーできる仕組みを目指す。

《委 員》

地域資源バンク制度を構築し、最終的にはどのような形で発信等を想定しているのか。

《事務局》

本年度は「地域資源バンク制度の構築」を行い、予算化等については翌年度以降となるため、今後検討していく。

4. グループワーク（登録要件について）

《A班》

制度運用において、人と人とを繋いだり、掘り起こしを行うコーディネーターの存在が重要。祭りの協賛集めや企画といった実践的なノウハウも資源となる。トラブル回避のため最初の接点には市やコーディネーターが介入するべき。

《B班》

暴力団、政治・宗教活動、営利のみの目的は除外すべき。市外の人でも、地域へ還元したいという想いがあれば対象とし、有償・無償のカテゴリー分けを行うと良い。

《C班》

企業の活動が利益や広告目的にあたるかどうかの線引きが難しい。最も重要なのは「まちづくりに参加する意思」だと思う。

《D班》

政治・宗教・純粋な営利目的は除外とし、無料のみに制限するべきか、それとも実費相当分は徴収するかなど、線引きが難しい。少なくとも、「まちづくり」という目的から外れてはいけない。